



「令和」時代の幕開けとともに始まったゴールデンウィーク。皆様はいかがお過ごしになりましたでしょうか。

さて、すごしやすいこの時期、ぜひ公園などに出向き、緑風を感じてみましょう。保育園や幼稚園の園児は、お散歩で小さな花をみつけて、花の名前を教えてください。私たちは、大人になるにつれいつしか、小さな花に気付かなくなりました。

最近空を見上げたこと、頬に風を気持ちよく感じたことはありますか。たまには、大人のお散歩でタイムスリップはいかがでしょう。 DUCTILE TIMES編集部

弊社の取り組みをご紹介します

※CSカメラ スネークくんは株式会社クボタの登録商標です
CS : Corrosion Survey

下水道圧送管路の効率的な調査

～ 圧送管内調査機器【CSカメラ スネークくん】による直接診断 ～

近年、内面モルタルライニングのダクタイル鉄管が使用されている下水道圧送管路において、硫酸腐食による道路陥没等の事故が報告されています。これまで下水道圧送管路の内面状況を確認する有効な調査技術がなく、下水道管理者の皆様は維持管理に大変苦慮されていました。

そこで、弊社では効率的に内面腐食状況を診断できる調査技術を開発しました。さらに、当該調査技術は平成28

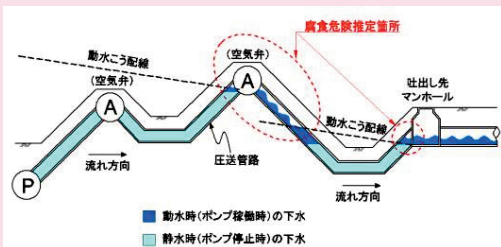
年度の国土交通省国土技政策総合研究所のB-DASHプロジェクトにおいて有効性が実証されました。また、平成30年2月には、同研究所からガイドラインが発行されました。

当該調査技術を採用したいというお問い合わせは全国から数多く寄せられており、調査実績も着実に増えてきています。今後も本技術を通して、適切な下水道圧送管路の維持管理に貢献していきたいと思っております。

管内調査技術の概要 適用管種：ダクタイル鉄管（呼び径200～1000）

1. 腐食危険箇所での絞り込み [机上スクリーニング]

- ・管路中で非満流の場所が腐食危険箇所
- ・管内面防食方法による抽出



2. 視覚調査 [CSカメラ スネークくん] (特許登録済)

- ・空気弁設置箇所から、最大30m調査
- ・ポンプ停止時間中(1.5時間程度)に調査
- ・撮影した映像により腐食の有無を判断



～診断結果の例～ 【劣化度は3ランク】

※写真は管頂側約180°を撮影

ご採用事業体様の声



沖縄県
下水道事務所
管理班
主任技師 山内 様

沖縄県では、硫酸腐食に起因する下水道圧送管路での漏水事故が発生したため、自然流下管と同様に、圧送管路でも予防保全的な調査ができないか検討しているところでした。そうした中、空気弁からTVカメラで内面の状況を確認できる「CSカメラスネークくん」が開発され、国土交通省からガイドラインが発行されたことを機に当技術と呼び径300の幹線を調査しました。

その結果、机上スクリーニングにより腐食が推定された箇所、Aランクの腐食をTVカメラの映像により確認することができました。

今後は他路線での調査を継続するとともに、調査結果をストックマネジメント計画に反映し、計画的な改築更新を進めていく予定です。



各方面より約50名の方が見学にお見えになりました

～メッセージ、ありがとうございました～